

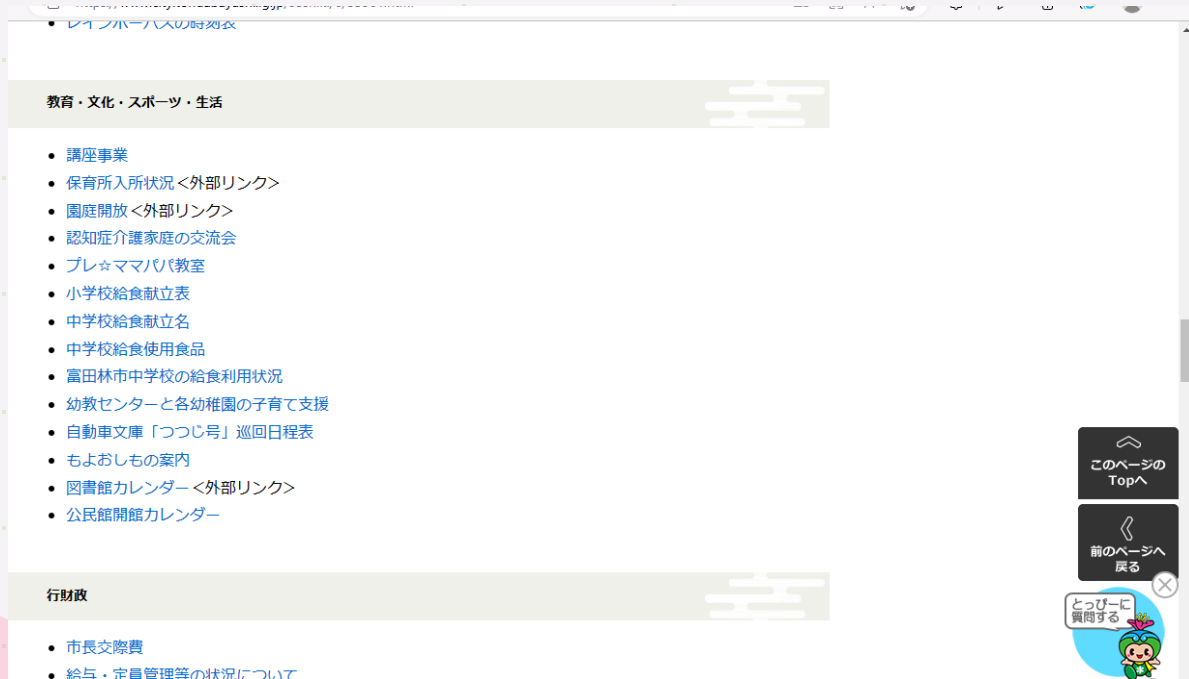


遺跡の地図データを  
見てみよう！  
kepler.gl編

1. 富田林市文化財課

# 1. 遺跡データのダウンロード

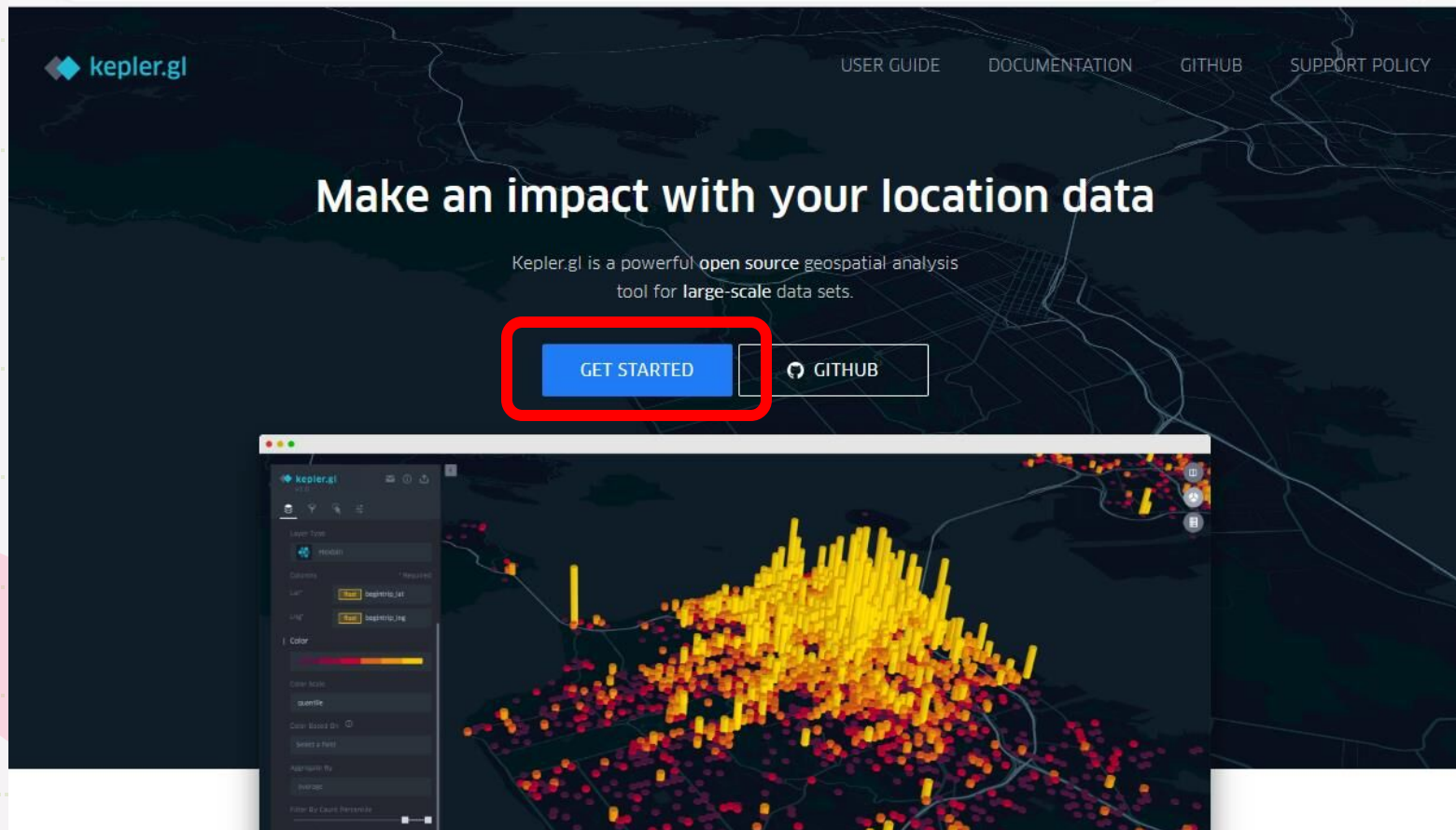
# オープンデータ - 富田林市公式ウェブサイト (tondabayashi.lg.jp)



教育・文化・スポーツ・生活から、「周知の埋蔵文化財包蔵地」をクリックして、遺跡の地図データをダウンロードします。自分の端末に保存してください。

2. kepler.glにアクセスしよう

**kepler.gl**とは、Uberが開発した誰でも地図データを見ることができるサイトです。ブラウザ上で様々なデータの見え方を変更することができます。日本語化できますので、安心してください。



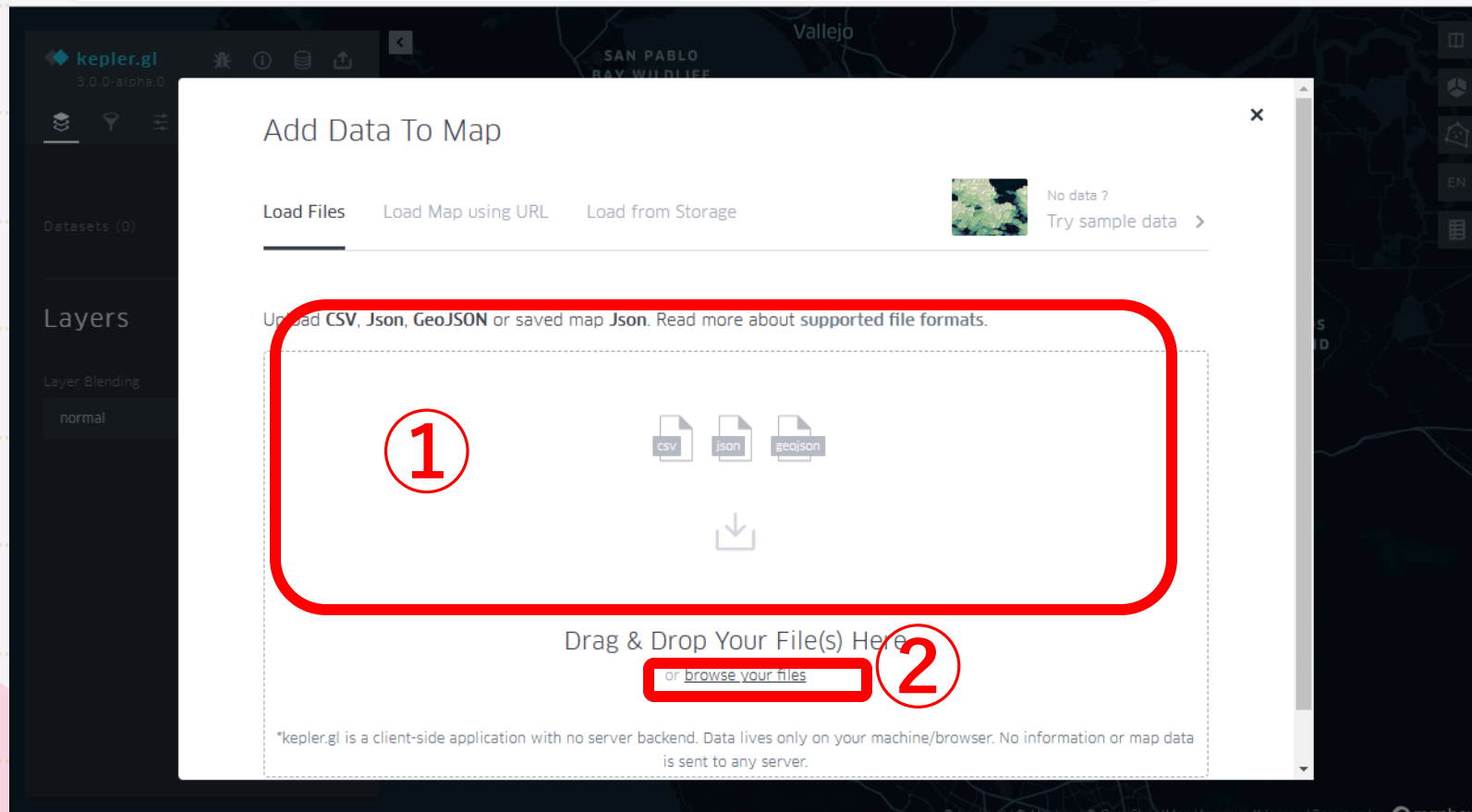
**Get Started**  
をクリックして先へ進もう

### 3. 遺跡の地図データを開くよ

保存した遺跡の地図データを開こう。

開き方は二つ。

- ①の枠にDrag & Dropするか、
- ②をクリックしてファイルを探しに行くよ。



開けるファイルは、  
①CSV  
②JSON  
③GEOJSON  
の三種類。

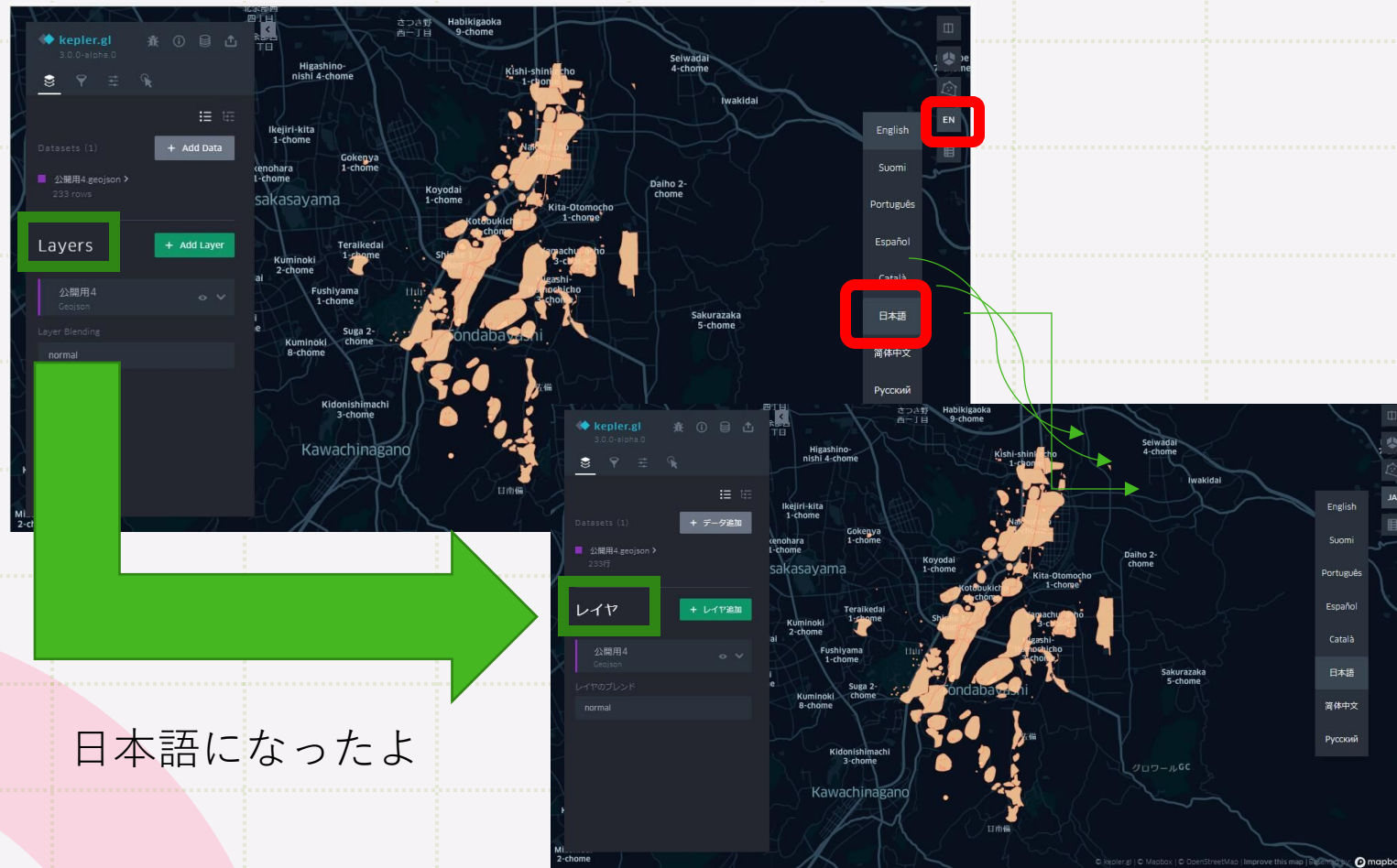
遺跡データは、  
GEOJSONだよ。

## 4. サイトを日本語化するよ



# データが開いた！

外国とか表示されてない？ 大丈夫？  
うまくいったら、富田林市が表示されるよ。



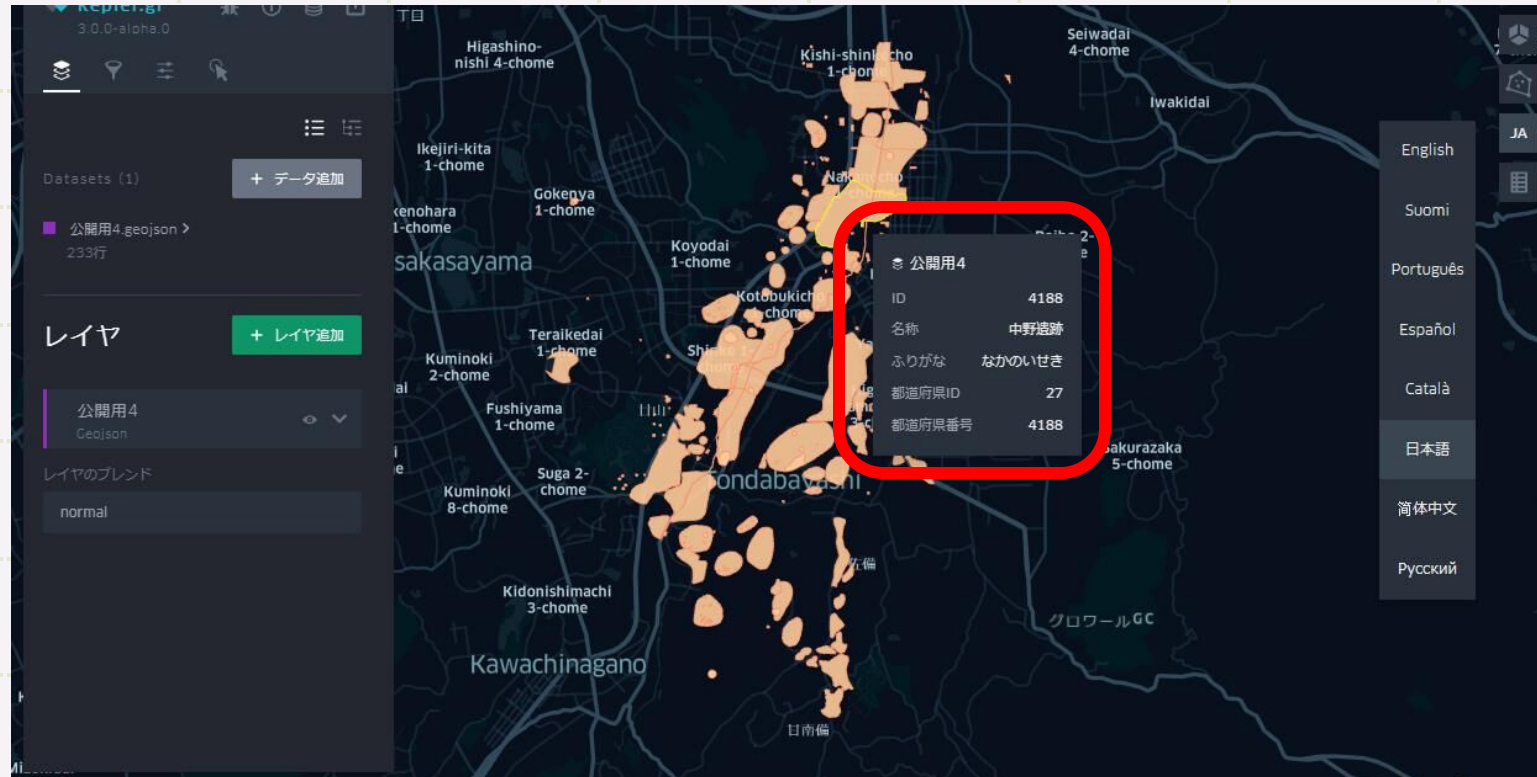
まず最初に、  
**サイトを日本語化**しよう。

右端の上から4番目「EN」  
をクリックすると、  
英語以外の言語が出てきます。

「**日本語**」を選択しよう！

# 5. 属性データを見てみよう

地図の図形の上に、カーソルを重ねると、  
**地図のデータが表示されたよ！**



ID、名称、ふりがな、都道府県ID、都道府県番号が表示されましたね。  
これで全部かな？ちょっとデータの中身を見に行こう。

読んだデータは左側のdatasetに入っています。見たいデータの名前をクリックして。  
※カーソルを重ねたときに表示される「データ表を表示」をクリックしても同じです。

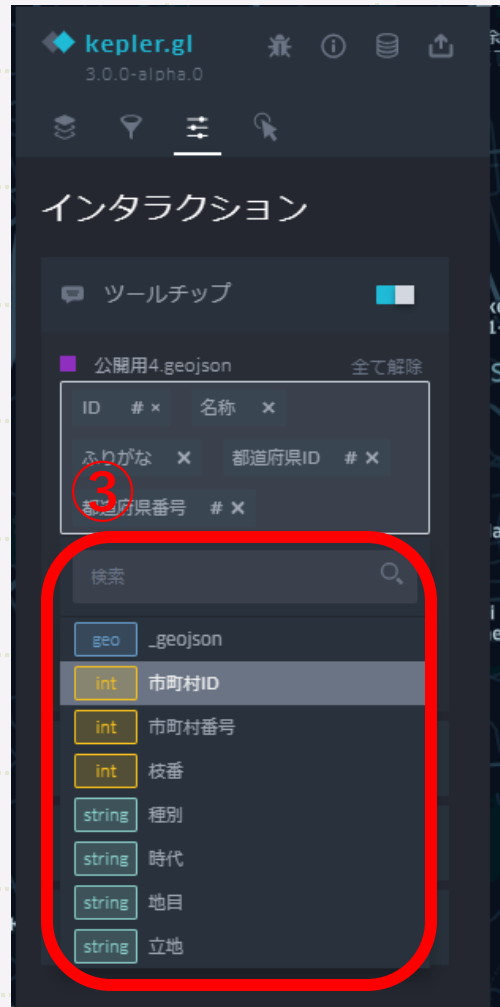
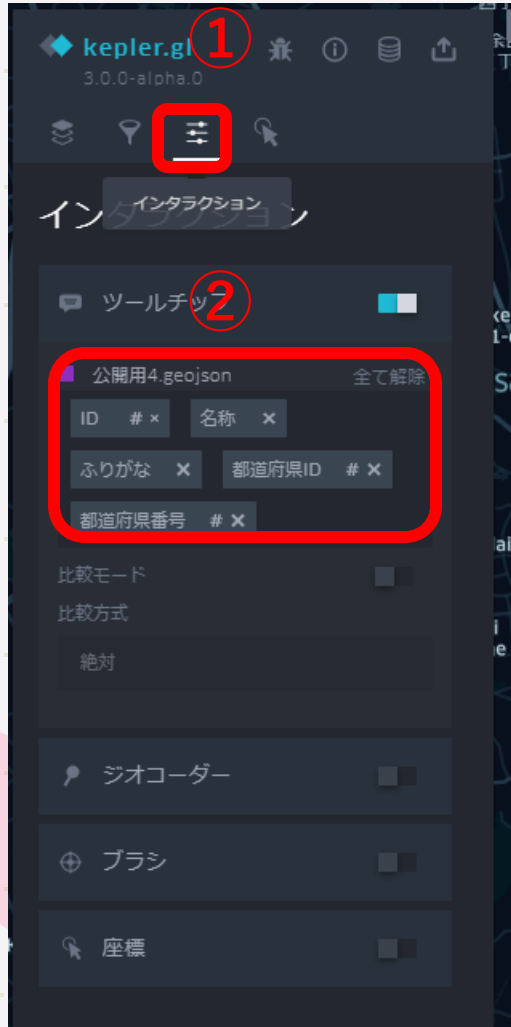
The screenshot shows the Kepler.gl interface. On the left, the 'Datasets' panel is visible, with '公開用4.geojson' (233 rows) highlighted. A red box highlights the 'データ表を表示' (Show Data Table) button. The main map area shows a street view of Sakasayama. A data table pop-up is open, displaying the following data:

市町村番号	枝番	種別	時代	地目	立地
3	0	古墳	古墳	その他	丘陵
1	0	古墳	古墳	その他	丘陵
	0	古墳	古墳	その他	台地
	0	集落跡・古墳	弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世	宅地・山林・荒蕪地・その他	丘陵
9	0	集落跡	弥生・古墳・奈良・平安・中世	宅地・水田	台地
	0	集落跡	弥生・古墳・奈良・平安・中世	宅地	台地
5	0	集落跡	古墳・奈良・平安・中世	宅地・水田	台地
3	0	古墳	古墳	その他	台地
2	0	古墳	古墳	その他	台地
1	0	古墳	古墳	その他	台地
7	0	古墳	古墳	その他	台地
8	0	集落跡	旧石器・縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世	宅地・水田	台地
8	0	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世	宅地・水田	台地
3	0	その他の遺跡	平安・中世・近世	道路	扇状地

データ表を開くとこんな感じ。右のほうにほかの属性データが隠れているね。

# 6. 表示される属性データを 増やそう

- ①最初に左から3番目のインタラクションをクリック
- ②ツールチップのところ到现在見えているデータが選択されているよ。  
赤枠の中をクリックしてね。



- ③下に他のデータが現れた！  
クリックして追加していこう。  
※\_geojsonはいりません。

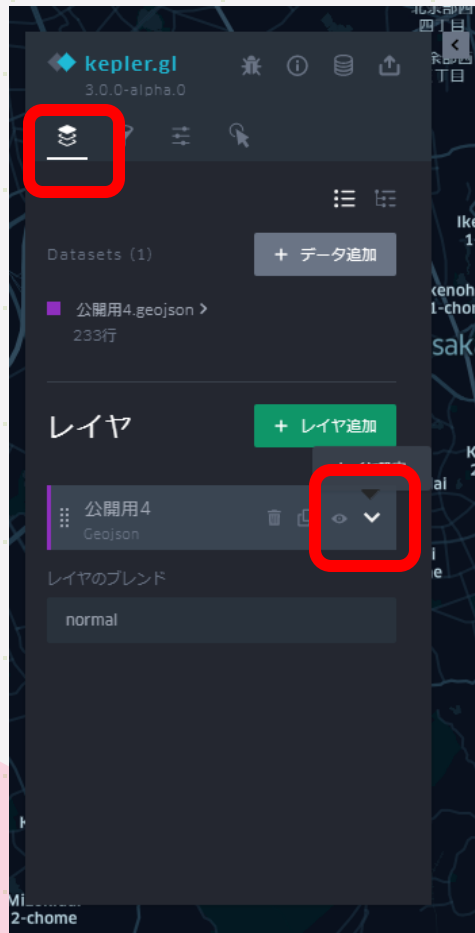


カーソルを図形に重ねると、  
**見えるデータが増えたよ！**

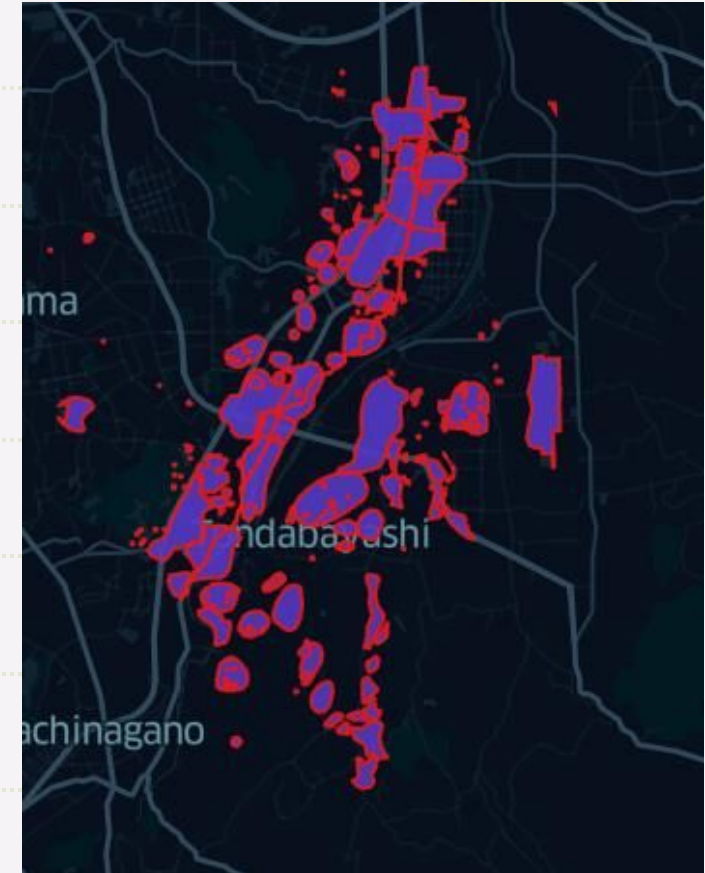
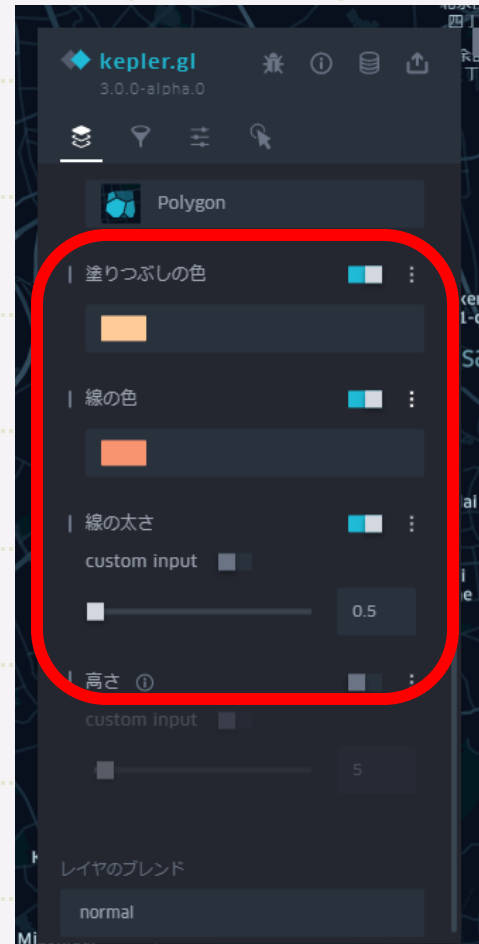
# 7. 図形の色を変えてみよう



左上のレイヤをクリックして、  
今見ているレイヤの右側にある  
「レイヤ設定」をクリック。



図形の（塗りつぶし）色  
や線の色・太さを変更で  
きる。やってみて。

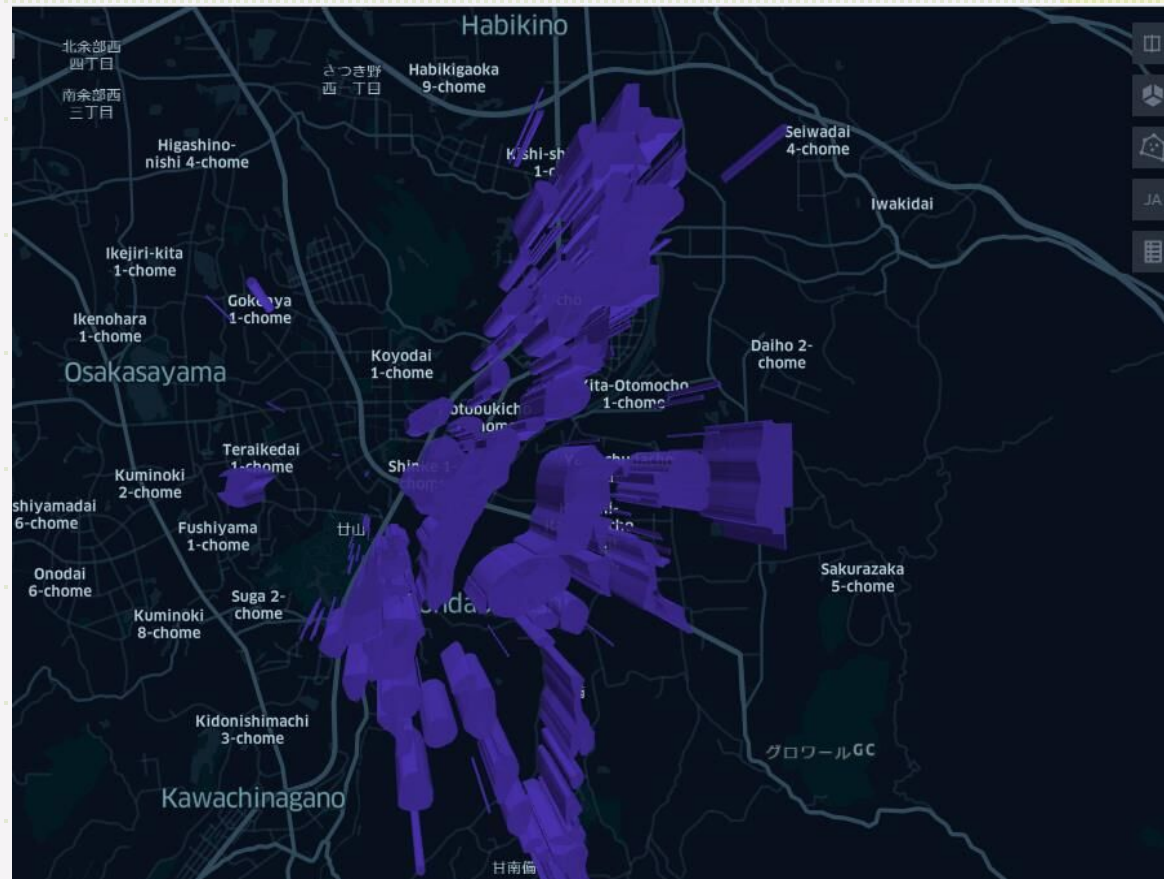


ほら！色が変わったよ！



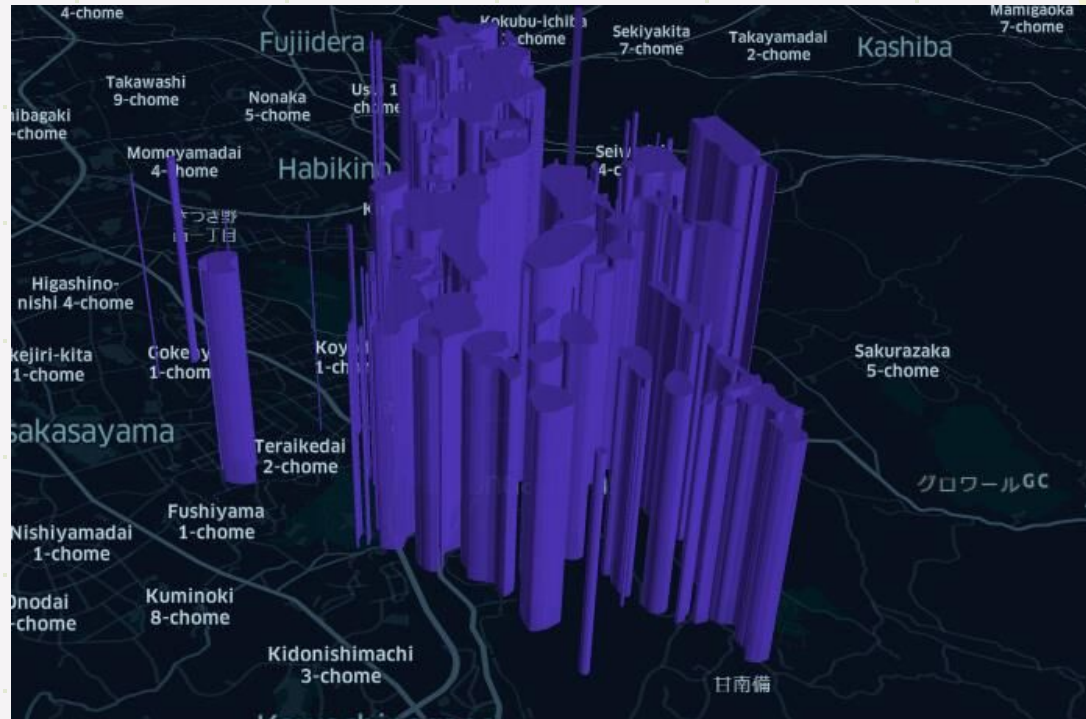
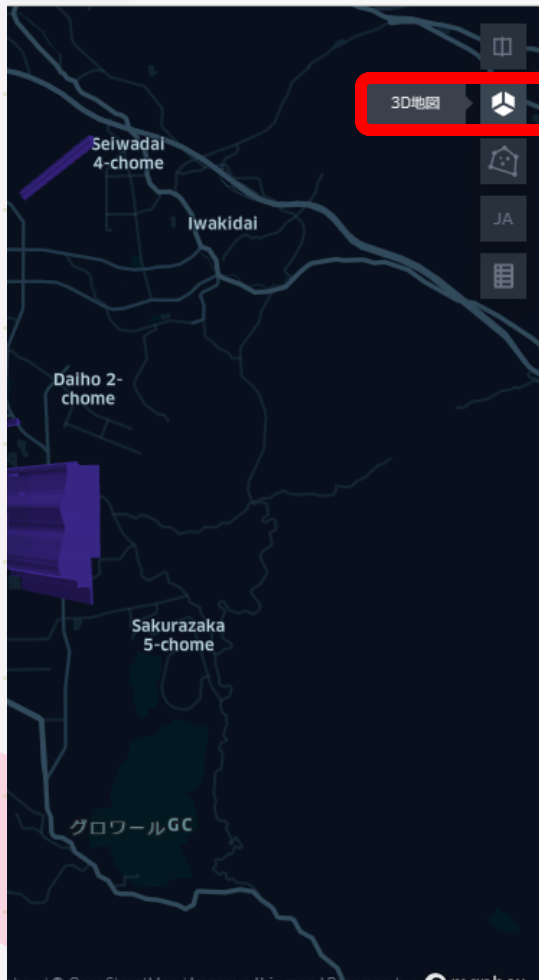
8. 3Dにしてみよう

さっき色や線を変えたところの下に、  
「高さ」のあったよね。  
スイッチを入れてみよう。



**図形に高さをつけられるよ！**

次に地図も3Dにしてしまおう。  
画面右側の上から2番目「3D地図」をクリックして。



## 地図が3Dになった！

地図の操作は、左で移動、ホイールで拡大縮小、  
右クリックで回転だよ。ぐりぐり遊んでみよう。

# 9. 色分けしてみよう

図形の高さスイッチを切って、  
地図を2Dに戻してね。

地図データがいろいろな属性データをもっていたことを思い出してね。  
kepler.glを使うと、属性データの内容ごとに違った色をつけられるよ。



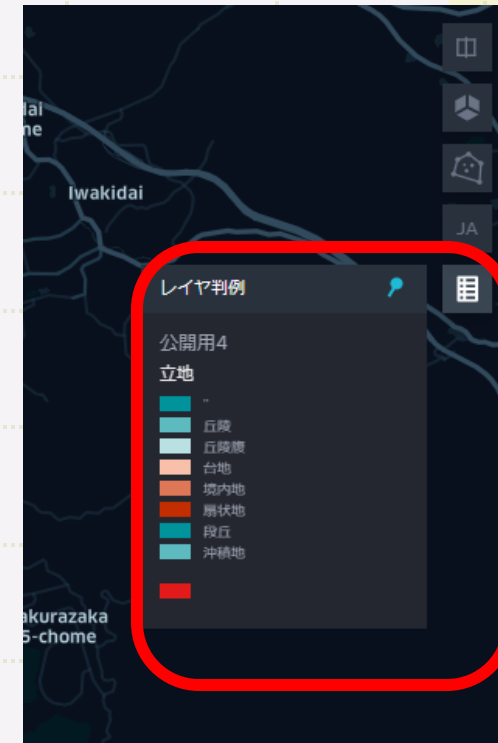
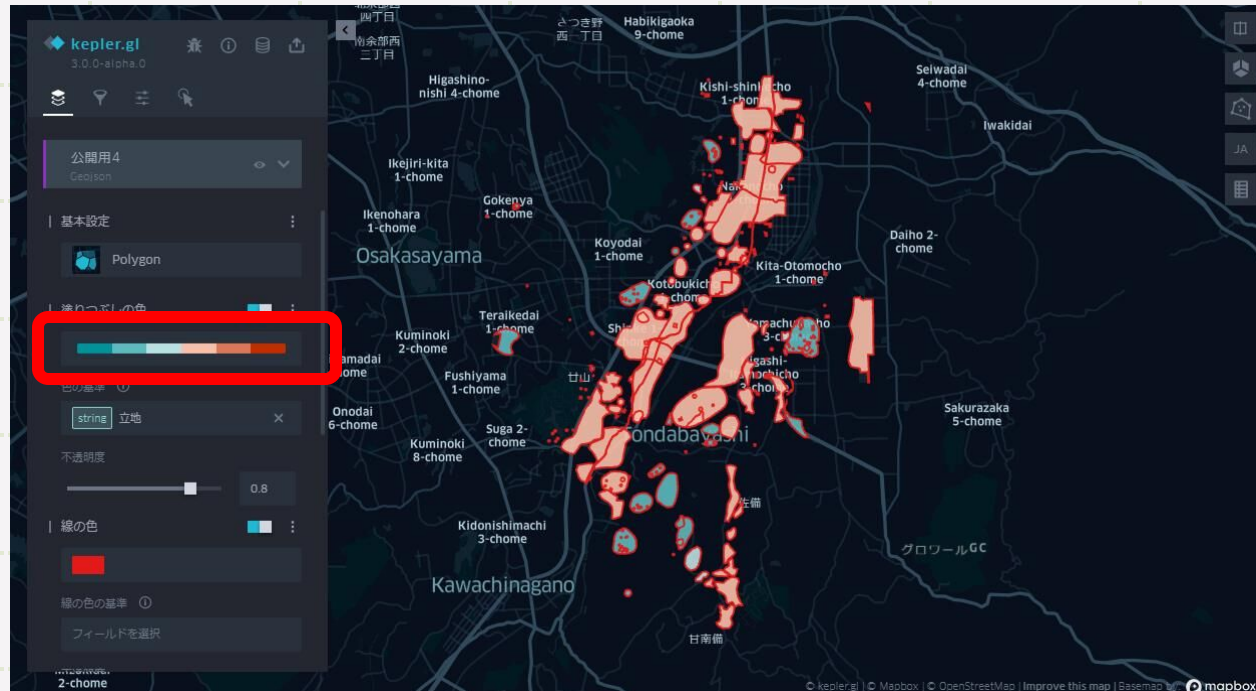
まず、「塗りつぶしの色」をクリックして、「色の基準」と「不透明度」の項目を出そう。



「色の基準」の「フィールドを選択」をクリックして、色分けしたい属性データを選ぼう。今回は「立地」属性を選択するよ。

図形にいろんな色がついたね！

「立地」属性のなかの情報ごとに色が自動でつくんだ。



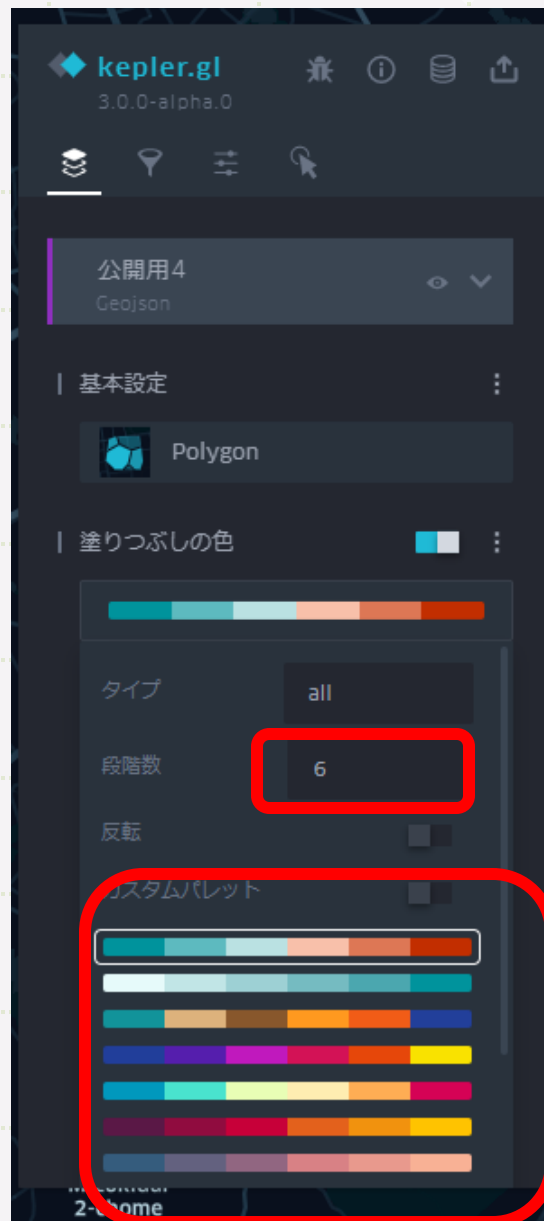
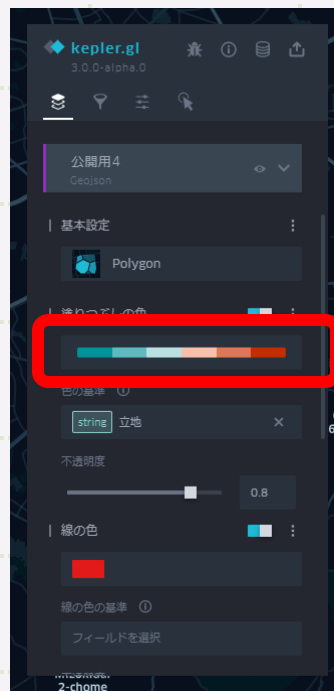
最初は6色の色が準備されているよ。

画面右端の一番下「凡例を表示」をクリックして、色が足りているか確認しよう。

「立地」属性は8種類の情報があるから、色が2つ足りていない。

増やそう！

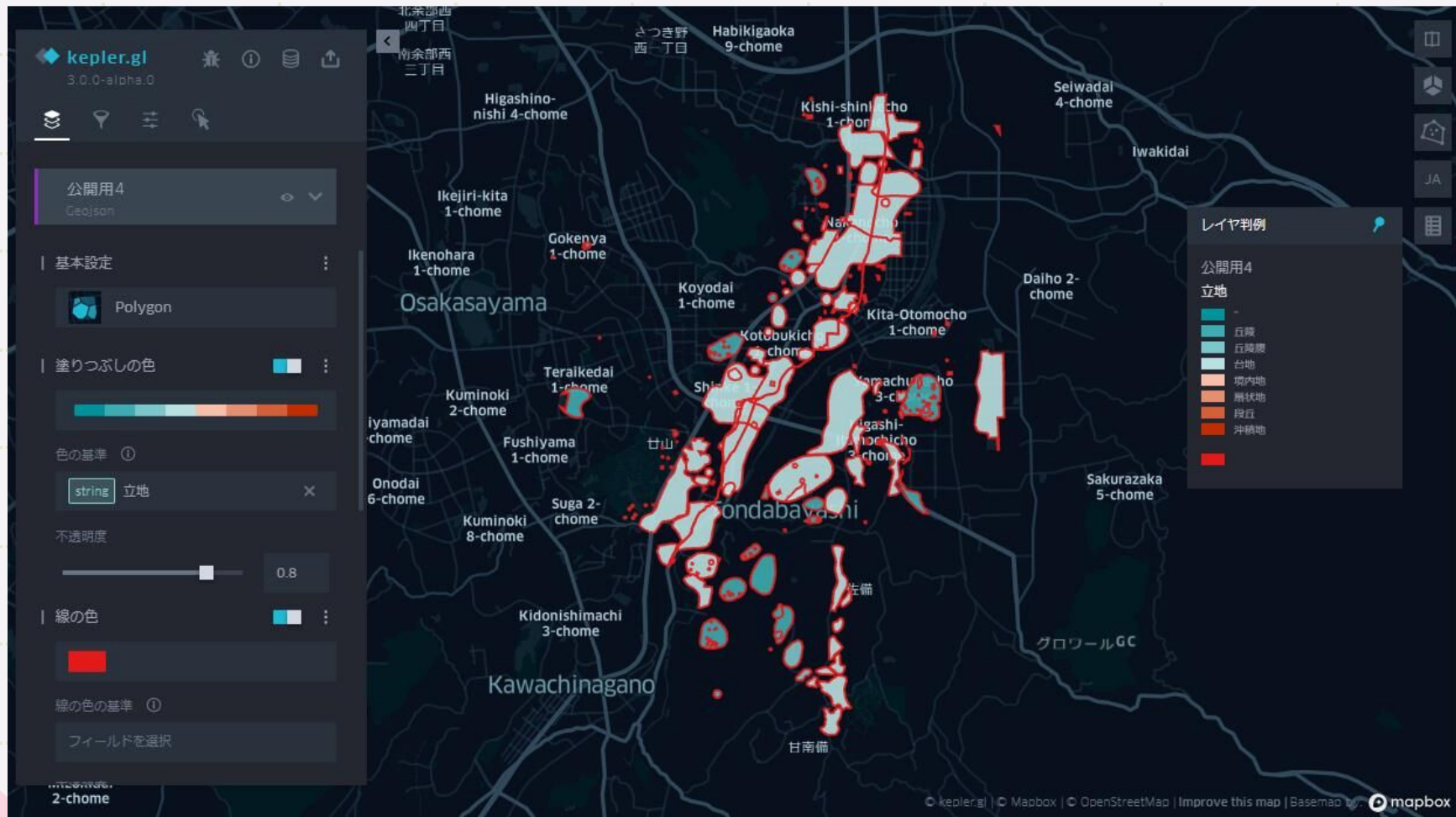
6色のカラーパレットを  
クリックすると



「タイプ」、「段階数」、  
「反転」、カスタムパレ  
ット」が出てくるよ。  
段階数が2つ足りなかつた  
ので、8にしよう。  
色が好みじゃなかったら。  
好きなカラーパレットを選  
んでね。



立地の種類ごとに違う色がついたね。OK！



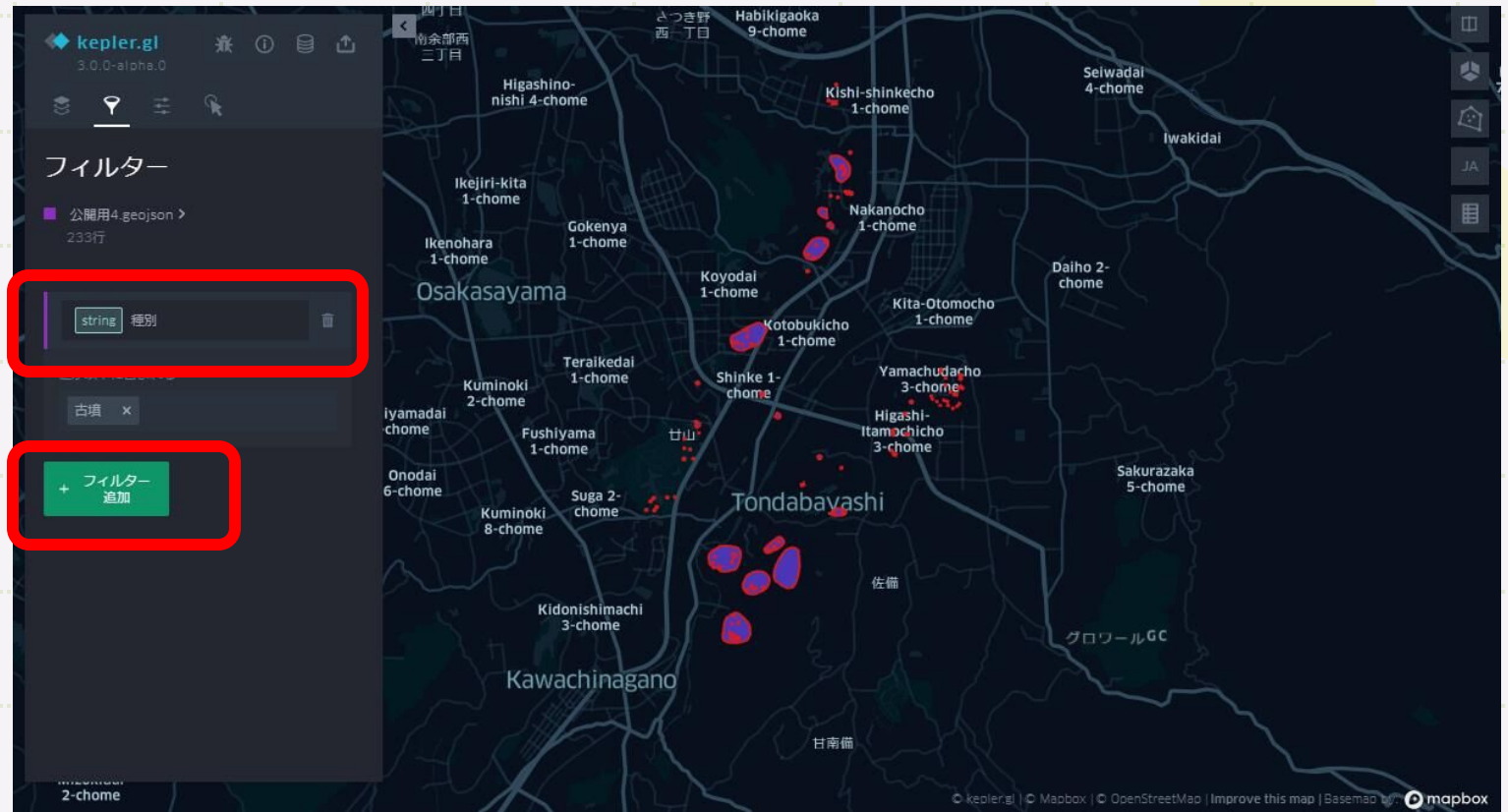
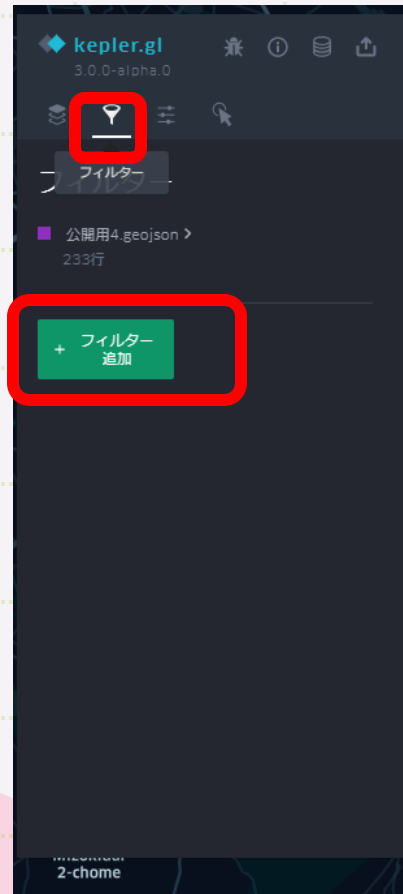
線の色、線の幅、高さも属性ごとに変わることができます。



# 10. フィルターを使おう

色の基準で選択した属性を「×」  
で消しておいてね

フィルターを使って、属性のうち特定の情報データを持つ図形だけを表示できるよ。

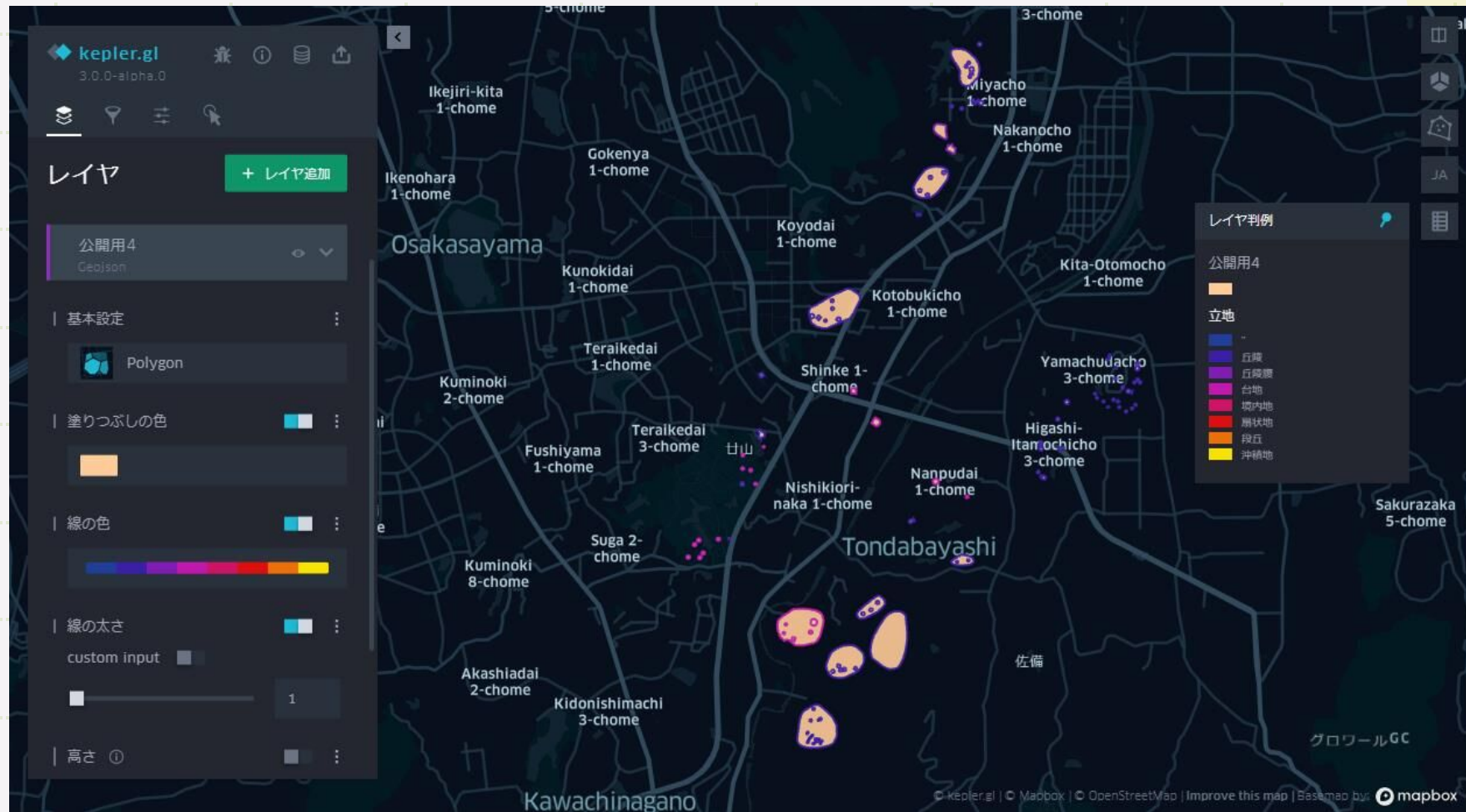


左から2番目「フィルタ」をクリックして、「フィルター追加」

今回は、「フィールドを選択」を「種別」、「値を入力」で「古墳」を選んでみよう。  
これで、**富田林市の古墳だけが表示されたよ。**

11. フィルターと色分けを  
組み合わせよう。

フィルターと色分けを組み合わせると、表現の幅が広がるよ。



これはフィルターで「種別」を「古墳」、線の色基準で「立地」を色分けしたものの。

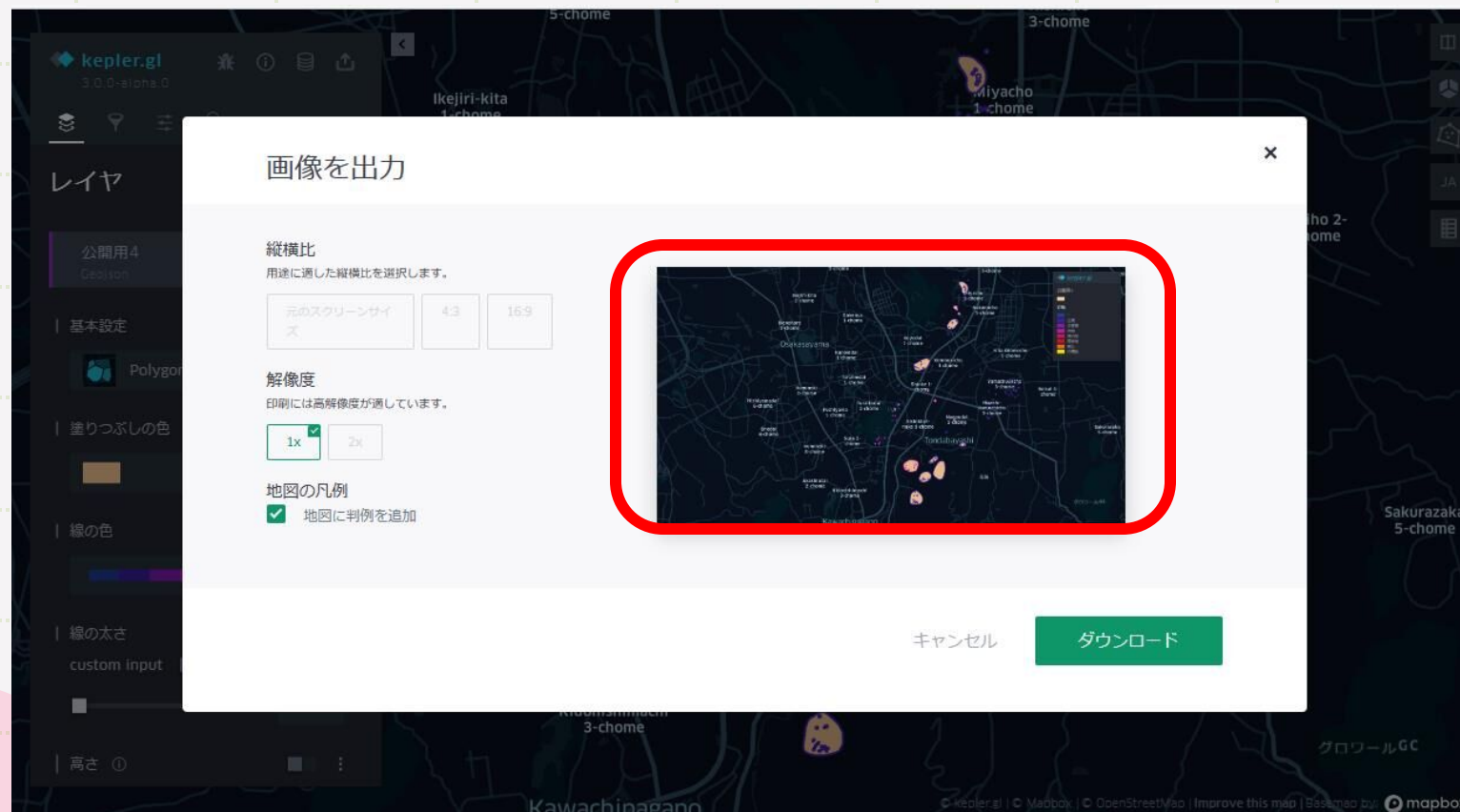
## 12. 出力しよう



◆ kepler.glのロゴのある部分の右端に「共有」ボタンがあります。くりっくすると、4つの共有方法が選べます。Dropboxやcartoのアカウントを持っていればweb上で共有できますが、今回は「画像を出力」と「地図を出力」をやってみましょう。

# 画像を出力

「画面の縦横比」、「解像度」、「地図の凡例」を選択できます。



表示されている画像を右クリックして保存してください。

**ダウンロードボタンが動きません！**

# 地図を出力

Htmlとjsonが選べます。作業中の地図を保存する場合、「json」を選択し、出力してください。保存したファイルをkepler.glで開くと、再開できます。





# 13. 他のデータを使ってみよう

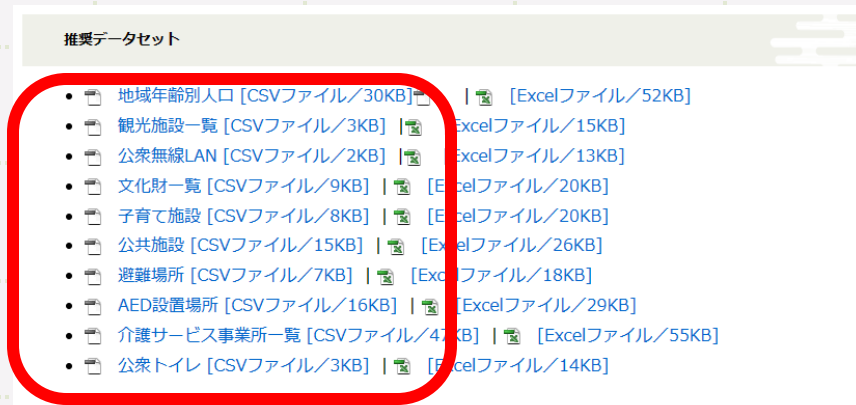
# 富田林市のデータ

## オープンデータ - 富田林市公式ウェブサイト (tondabayashi.lg.jp)

<https://www.city.tondabayashi.lg.jp/soshiki/6/35961.html>

市のサイトにも、地図データが公開されています。

### ■CSV (ポイント)



推奨データセット

- 地域年齢別人口 [CSVファイル/30KB] | [Excelファイル/52KB]
- 観光施設一覧 [CSVファイル/3KB] | [Excelファイル/15KB]
- 公衆無線LAN [CSVファイル/2KB] | [Excelファイル/13KB]
- 文化財一覧 [CSVファイル/9KB] | [Excelファイル/20KB]
- 子育て施設 [CSVファイル/8KB] | [Excelファイル/20KB]
- 公共施設 [CSVファイル/15KB] | [Excelファイル/26KB]
- 避難場所 [CSVファイル/7KB] | [Excelファイル/18KB]
- AED設置場所 [CSVファイル/16KB] | [Excelファイル/29KB]
- 介護サービス事業所一覧 [CSVファイル/4KB] | [Excelファイル/55KB]
- 公衆トイレ [CSVファイル/3KB] | [Excelファイル/14KB]

緯度・経度の属性をもつcsvは、kepler.glで表示できます。

※文字コードがShift\_JISなので、そのままkepler.glで開くと文字化けします。excelで開いて、csv UTF8(カンマ区切り)で保存してください。

### ■shp/kml



エネルギー・水

- 水道・下水道料金早見表
- 公共下水道供用開始区域
- 浄化槽PFI事業区域
- 公共下水道污水管渠
- 公共下水道雨水管渠
- 公共下水道污水人孔
- 公共下水道雨水人孔
- 下水道・浄化槽整備実績

Shpとkmlはkepler.glでは開くことができません。Google Earthなどの別サイトで見るとか、GISソフトなどでgeojsonに変換すれば開くことができます。

### ■shp

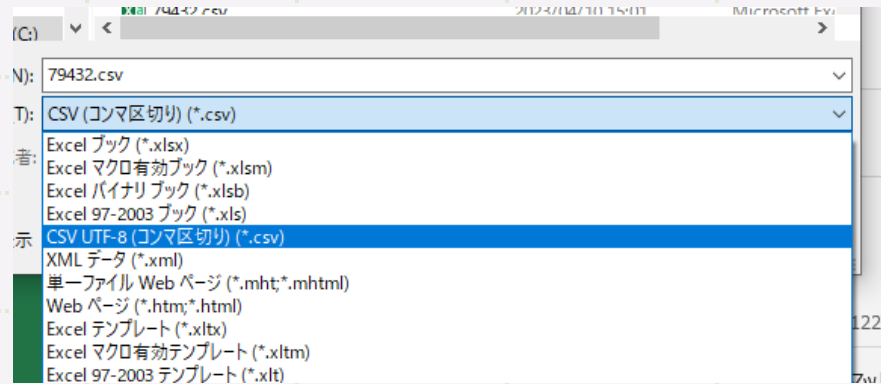


その他

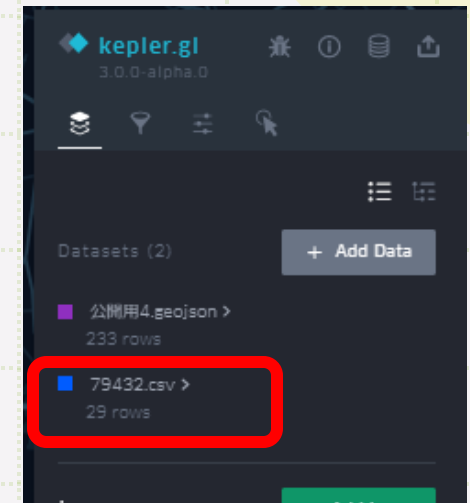
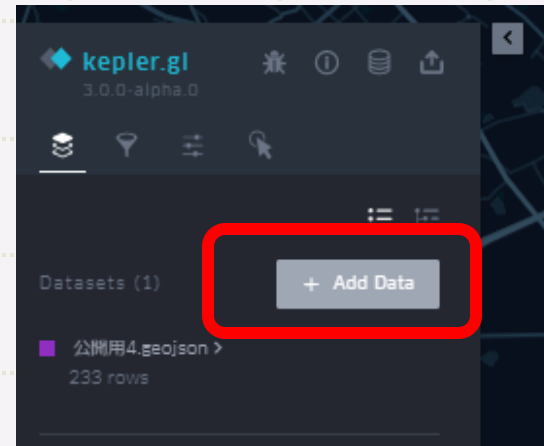
- 道路台帳図
- 基準点
- 貸し農園のお知らせ
- 各種相談日程 (商工関係相談)
- 各種相談日程 (労働相談・障害者就業生活相談・就労支援相談)
- 出前講座メニュー
- 地形図
- 航空写真
- 道路中心線
- マンホールデザイン (雨水蓋)

試しに推奨データセットの文化財一覧 [CSVファイル/9KB]を表示させてみるね。  
まず、文化財一覧をダウンロードします。

①文字コードをUTF8に変換  
文化財一覧 (74932.csv) をエクセルで  
開き、「名前をつけて保存」でファイル  
の種類をcsv UTF8にして保存します。



②kepler.glの左側で「+データを追加」をクリックして、  
74932.csvを開きます。

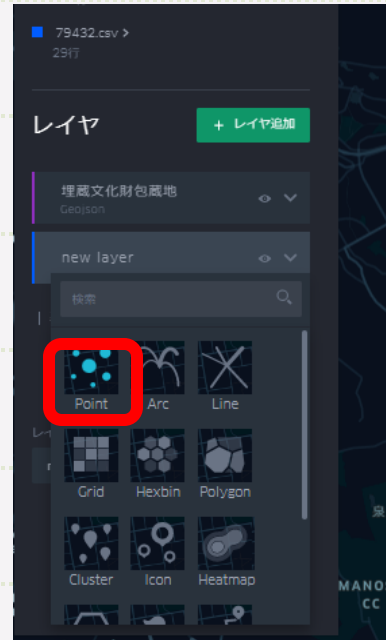


Datasetsに74932.csvを追加されたよ。

③+レイヤ追加で  
74932.csvを選択、すると「new layer」というレイヤができた。



④new layerの右端「レイヤ設定」をクリックし、「タイプを選択」をクリック、「point」を選択

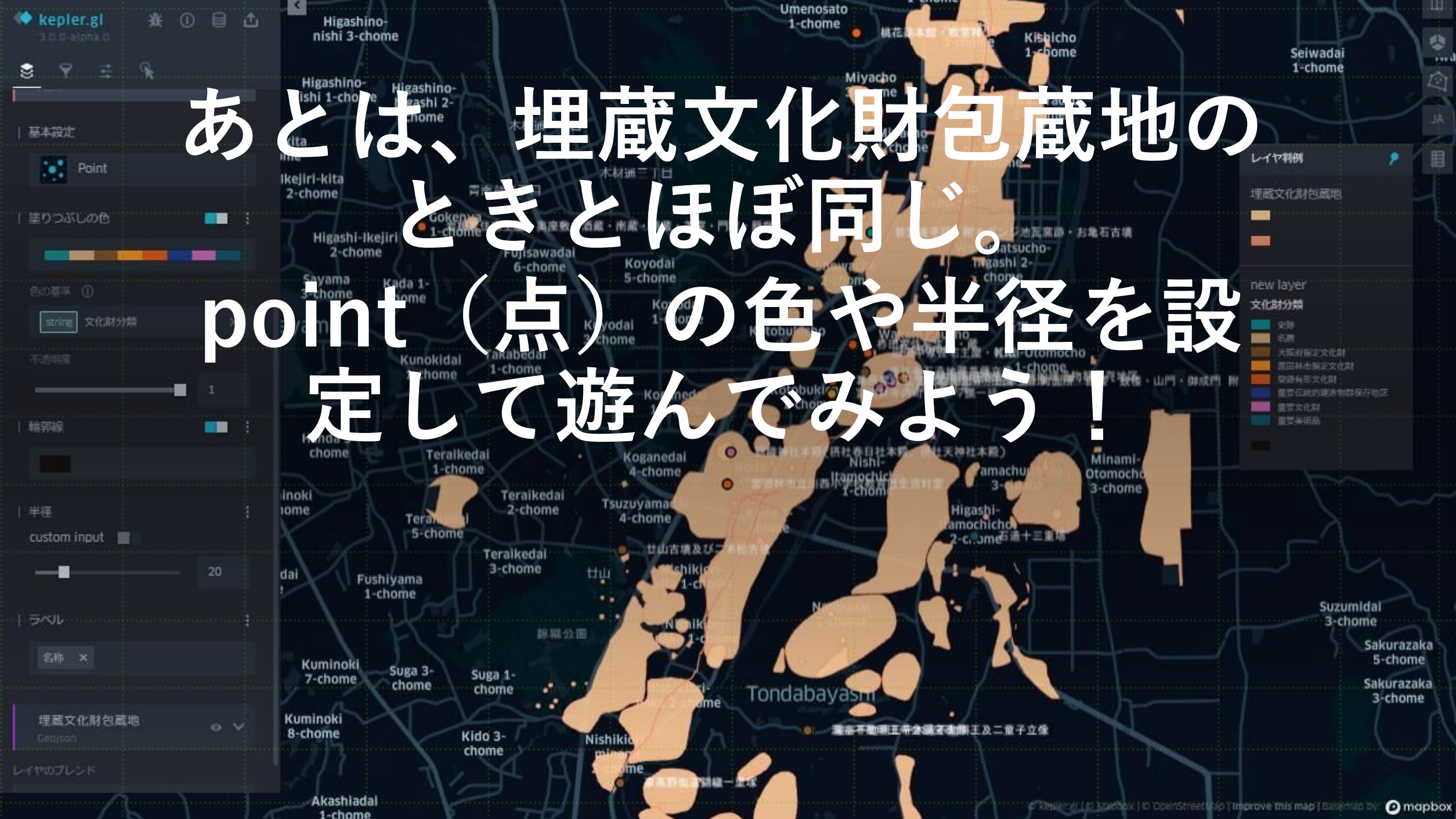


⑤データソースが74932.csvになっていることを確認し、「列」の「緯度」と「経度」の「フィールドを選択」をクリックして、それぞれ緯度と経度に設定する。



**これで、準備はOK!**

あとは、埋蔵文化財包蔵地の  
ときとほぼ同じ。  
point（点）の色や半径を設定して遊んでみよう！





最後に



これで遺跡の地図データを見る方法の説明を終わります。

単に地図データを見るだけでなく、これらのデータやkepler.glなどを活用して、あなた自身で魅力的な地図を作成していただければ、最高です！

